

中小企業労働安全衛生評価事業の概要

愛称は「JISHAグッド・セーフティ・カンパニー」

中央労働災害防止協会

【趣旨】

安全衛生の向上を目指す中小企業の安全衛生活動を支援し、自らが設定した目標を達成できる企業力の強化と蓄積を後押しするため、基本的な安全衛生活動とそれを継続するための基盤ができているかどうかを評価します。

【評価によるメリット】

- 登録証の付与及び中災防HPへの掲載等により、安全衛生活動の積極的な取り組みが社会的に周知され、企業のイメージ(社会的責任)や社員の安全衛生意識などが向上されます。
- 安全衛生活動の質が向上されることで、生産性の向上にも繋がります。
- 評価による調査や指導により安全衛生の専門的知識やノウハウを獲得できます。
- 所在地の労働局・労働基準監督署に本事業への登録をお知らせし、情報を共有します。

事業の対象と評価基準

✦ 事業の対象

従業員数が300人以下の企業を対象とし、評価は、リスクアセスメントや基本的な日常の安全衛生活動が実践されており、かつ、これらの取組みを継続していく基盤があると認められる中小企業または事業場となります。有効期間は3年間で、以降3年ごとに更新となります。

✦ 評価基準

経営トップによる安全衛生方針の表明や安全衛生管理体制の整備、リスクアセスメントや日常の安全衛生活動の実施など、10の項目(必須)で評価を行います。

このほか、主な安全衛生活動(リスクアセスメント、5S活動、危険予知活動など)については、活動の「レベル評価」も併せて行います。これにより、現在の安全衛生活動の達成度合いを把握でき、また更新時にはその前後の活動状況のレベルが比較できます。

具体的な評価の基準は

【必須項目】

1. 経営トップによる安全衛生方針の表明
2. 安全衛生管理体制の整備
3. 労働安全衛生法の遵守
4. リスクアセスメントの実施及びリスク低減措置の決定等
5. 安全衛生活動の実施状況
6. 緊急事態への対応
7. 労働災害発生原因の調査等
8. 経営トップによる見直し
9. 安全衛生活動の記録
10. 労働安全衛生管理活動の運用による効果

【レベル評価項目】

左の評価基準(必須項目)を満たした上で、次の活動の実行レベルを評価できる基準項目の達成度合いにより、事業場の労働安全衛生レベルも評価します。

- ▶ リスクアセスメント
- ▶ 危険予知活動
- ▶ 5S活動
- ▶ ヒヤリ・ハット活動
- ▶ 職場巡視
- ▶ トップ&コミュニケーション

評価の流れは ①

① 申し込み



オプション 技術指導



② 自己評価（チェックリストを使用）



③ 一次評価（実地調査：トップインタビュー、ヒアリング、現場確認等）

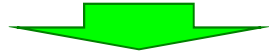
事業場での実地調査のみです。

実地調査については、1日で行います。当日の内容は、

- ◆ トップインタビュー
- ◆ 安全衛生担当部門のヒアリング
- ◆ 自己評価（申込み事業場に実地調査前に実施していただきます）の結果と書面資料等をもとに行う書面調査
- ◆ 現場確認とヒアリング



評価の流れは ②



オプション 技術指導



④ 二次評価（委員会での判定）



⑤ 登録（中小企業労働安全衛生評価事業場名簿に登録）



オプション 技術指導



⑥ 定期調査（1年後に専門家が事業場を訪問して確認）



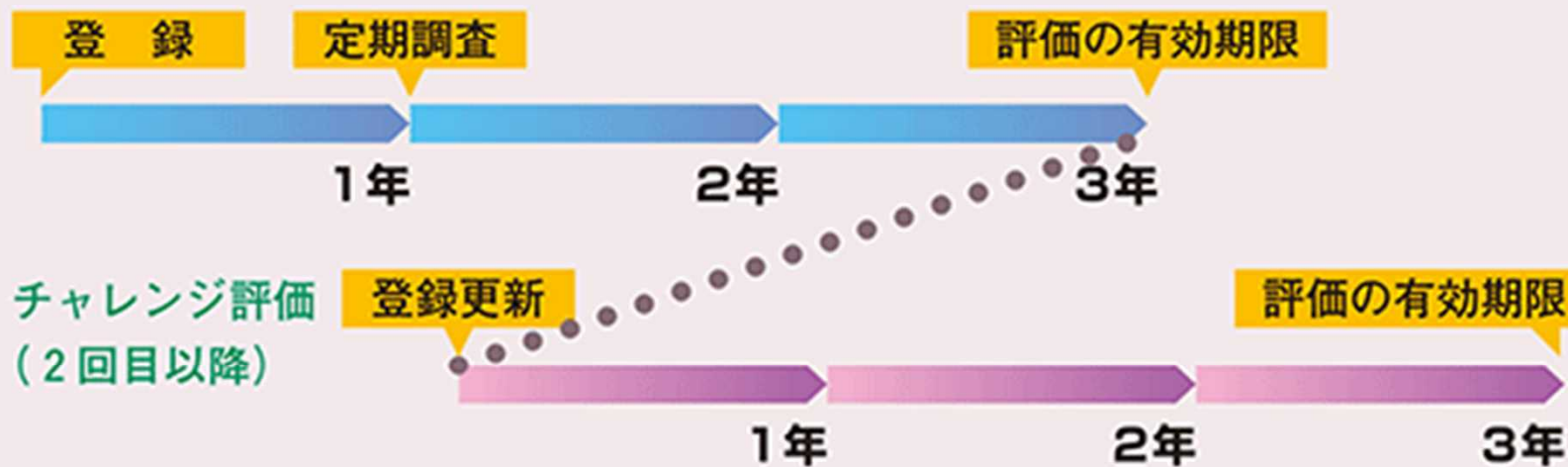
⑦ チャレンジ評価（3年以内の任意の時期）

評価の方法は

●評価の有効期間とチャレンジ評価の関係

有効期間内は、中災防への定期的な報告・調査などはありません(定期調査・チャレンジ評価を除く)。

初回評価



チャレンジ評価(登録更新)は、有効期間(3年間)内の任意の時期に、評価を実施することができます。

自己評価表(チェックリスト) *一部抜粋

基準内容		自己評価結果	自己評価結果の根拠<評価の拠り所とした理由等を記載して下さい>		
			①確認材料の有無	②書類の名称	③書類の項目No.、項目名等
5 安全衛生活動の実施状況					
(1)	安全衛生計画が作成されていますか。	はい いいえ	有・無		
(2)	安全衛生計画には、次の事項が含まれていますか。				
ア	1年間で達成したい安全衛生目標	はい いいえ	有・無		
イ	リスクアセスメントの実施及びリスク低減措置の決定並びにその実施時期	はい いいえ	有・無		
ウ	労働安全衛生法令、社内安全衛生規程等に基づいて実施する事項(例:作業環境測定、健康診断、定期自主検査など)及びその実施時期	はい いいえ	有・無		
エ	次の日常的な安全衛生活動のいずれかの実施				
	危険予知活動	はい いいえ	有・無		
	5S(2S, 3S, 4S)活動	はい いいえ	有・無		
	ヒヤリ・ハット活動	はい いいえ	有・無		
	職場巡視	はい いいえ	有・無		
	安全衛生改善提案活動	はい いいえ	有・無		
	健康づくり活動	はい いいえ	有・無		

自己評価判定基準

* 一部抜粋

<評価者用>

基準内容		ランク	チェック欄	評価者用判定基準
5 安全衛生活動の実施状況				
(1)	安全衛生計画が作成されていますか。	A	<input type="checkbox"/>	安全衛生計画の作成に従業員の意見の反映を行っていることが記録(安全衛生(衛生)委員会などの議事録)などで確認できること。
		B	<input type="checkbox"/>	事業者が安全衛生計画の作成に関与していることが確認できること。
		C	<input type="checkbox"/>	安全衛生計画があること。
(2)	安全衛生計画には、次の事項が含まれていますか。			
ア	1年間で達成したい安全衛生目標	A	<input type="checkbox"/>	モデル様式で作成していること。
		B	<input type="checkbox"/>	安全衛生目標を達成するためのスケジュールが確認できること。
		C	<input type="checkbox"/>	安全衛生目標が確認できること。
イ	リスクアセスメントの実施及びリスク低減措置の決定並びにその実施時期	A	<input type="checkbox"/>	「リスク低減するための活動」又は「リスク低減するための実施事項」に関する項目が含まれ、その実施スケジュールが示されていること。
		B	<input type="checkbox"/>	「リスク低減するための活動」又は「リスク低減するための実施事項」に関する項目が含まれていること。
		C	<input type="checkbox"/>	リスクアセスメントの実施時期が盛り込まれていること。

レベル評価用チェックリスト

* 一部抜粋・加工

4 ヒヤリ・ハット(HH)活動

問1 体制と役割・責任

問2 実施のための準備と教育

問3 実施状況(報告)

- ① 皆が参加していますか
- ② 決められた報告の方法に従っていますか
- ③ 報告がなされていないことがないですか
- ④ 内容が分からない場合、管理者は聞き取りしていますか
- ⑤ 報告している人を褒めていますか

問4 実施状況(改善)

問5 実施状況の確認

問6 活動の評価

レベル評価の重点事項 & 判定のポイント

* 一部抜粋

問3	ヒヤリハット活動
①	
②	
③	内容が分からない場合、管理者は聴き取りしていますか
④	職長や作業者に 管理者自身が直接 聴き取り
⑤	管理者自身が直接 褒める
	報告している人を褒めていますか

結果報告書(例)

P1

平成 年 月 日

〇〇〇〇株式会社 △△工場
工場長 〇〇 〇〇 殿

中央労働災害防止協会
〇〇安全衛生サービスセンター
所長

中小企業労働安全衛生評価 結果報告書

1. 事業場名 〇〇〇〇株式会社 △△工場
2. 所在地 〇〇県〇〇市〇〇
3. 1次評価実施日 平成 年 月 日
4. 専門家氏名 〇〇 〇〇
5. 技術指導実施日(1回目) 平成 年 月 日
技術指導実施日(2回目) 平成 年 月 日

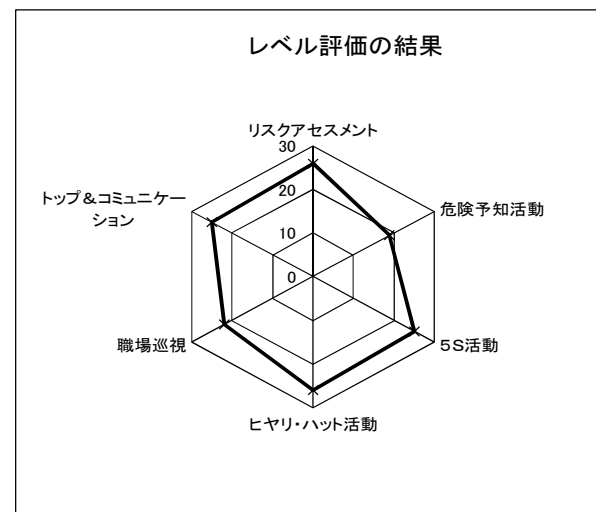
*オプションコースをお申込みの場合で、登録時までに行った技術指導の実施日を記載します。

6. 評価結果

- (1) 総合評価 すべて項目について評価基準に達していると評価します。
- (2) レベル評価 レベル評価チェックリストに基づき、その結果をレーダーチャートでお示しています。表示された図形(太い実線)が外側に大きいほど活動のレベルが高い状況にあります。

項目	点数
① リスクアセスメント	26
② 危険予知活動	19
③ 5S活動	25
④ ヒヤリ・ハット活動	26
⑤ 職場巡視	22
⑥ トップ&コミュニケーション	25
合計	143

*レベル評価は各項目30点満点です。



結果報告書(例)

P2 以下略

7. 評価結果に対するコメント・アドバイス

評価結果について、以下のとおりコメントまたはアドバイスをさせていただきます。ぜひこれらを参考に、今後の安全衛生活動に取り組まれますようお願いいたします。

(1) 10の評価項目について

項 目	コメント・アドバイス
①経営トップによる安全衛生方針の表明	社長が「安全衛生に関する社長メッセージ」として安全衛生方針を表明し、従業員に周知されていましたが、今後は、この社長メッセージを踏まえた〇〇工場としての安全衛生方針も表明することをお勧めします。なお、具体的に安全衛生活動(リスクアセスメント、KY活動、ヒヤリハット報告活動、5S活動等)の推進について表明することをお勧めします。
②安全衛生管理体制の整備	総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、産業医が選任されていました。また、毎月、安全衛生委員会が開催され、ほぼ毎回、〇〇専務と総括安全衛生管理者が出席しています。今後は、産業医からの指導が得られる機会をさらに増やすことをお勧めします。
③労働安全衛生法の遵守	安全衛生法令の実施事項については一覧表に整理されました。また、作業環境測定、健康診断、定期自主検査等の実施事項は安全衛生活動スケジュールに挙げて計画的に実施し、記録が保存されていました。
④リスクアセスメントの実施及びリスク低減措置の決定等	リスクアセスメントの実施手順を作成し、それに基づいて小集団活動で実施していました。優先順位を付けてリスク低減措置を実施していました。残留リスクについては、リスクアセスメント実施報告書に残留リスク対応の欄を設けて対応策を記述し、作業手順書への反映等も行われていました。今後とも、職場の大きなリスクを漏らさず特定するようにし、特定(災害に至るプロセス)においては、怪我の種類、身体の一部まで記述することをお勧めします。
⑤安全衛生活動の実施状況	安全衛生活動スケジュール(以下、「スケジュール」という)には、リスクアセスメント、法令の遵守事項、安全衛生活動、教育等が含まれており、担当者の記述もありましたが、今後、以下の点について対応することをお勧めします。 <ul style="list-style-type: none">・スケジュールの作成に当たっては、安全衛生委員会等で従業員の意見を反映する。・スケジュールの活動項目ごとに目標を設定する。・スケジュールに活動の実施状況を確認するフォロー者の欄を設定する。・スケジュールの進捗状況の確認(毎月)、達成状況の確認(四半期ごと)を安全衛生委員会等で行う。

登録証 (見本)



登録証

〇〇工業株式会社 〇〇工場 殿
《所在地》

貴事業場が中小企業労働安全衛生評価登録事業場名簿
に登録されている事業場であることを証します

登録番号：《登録番号》

登録日：平成 年 月 日

有効期限：平成 年 月 日

中央労働災害防止協会

会長 榊原 定征

(登録証発行番号 《登録番号》-1)